テーマ：海の生き物

滝王子保育園（品川区）

テーマを設定する

夏祭りの取り組みから「海の生き物」についてかかわる中で、子どもたちの興味関心が高まっている。友達と協力して「ジンベエザメ」を作ることを思いつき、プールで作ったジンベエザメを水に浮かべて試してみたり調べたりしている。実際の大きさや生態を知る中で、さらに「海の生き物」に対する好奇心や探求心を深めていく。

9/11（水）活動　～ジンベエザメについて知ろう

●活動のねらい

- ジンベエザメについて調べたり、わかったことを保育者や友達に伝えたりする
- 友達と一緒に考えたり工夫したりして遊ぶ楽しさを感じる
- 様々な素材を使いながら自分なりに表現することを楽しむ

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容	
①	ジンベエザメの絵を描き色をつけていく。
②	ジンベエザメが食べるオキアミについて調べる。
③	ジンベエザメの歯の模型を見ながら歯を作ってみる。
④	ジンベエザメのトンネル作りをする。

環境をデザインする

●用意した環境　食用オキアミ・紙皿・サメの模型の歯・ジンベエザメの縫いぐるみ・虫眼鏡・カラービニール袋・フープ・養生用テープ・色鉛筆・画用紙・ピグマックス・図鑑・本・ハサミ・セロハンテープ・スズランテープ・のり・鉛筆削り

★オキアミを観察できるよう虫眼鏡を用意した。
★実際のジンベエザメの大きさや長さを廊下にビニールテープで貼り体感できるようにした。

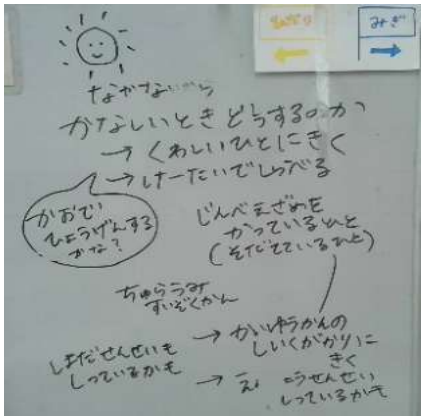
探究活動を実践する

●活動内容

ジンベエザメの好きな塗り絵を選び塗ったり、ジンベエザメの歯を作ったりした。また、実際に食用のオキアミを見ながら図鑑や絵本を見て調べる。子どもたちは「小さい子もくぐり抜けられるジンベエザメトンネル作りをしたい」と言い、カラービニ８..ール袋やフープでトンネル作りをする。

●子どもたちの様子

- オキアミを観察し絵を描いたり、サメの歯のレプリカやぬいぐるみを見て「歯は 8000 本あるんだよ」と言いながら、紙皿を切って歯を作り始めたりしていた
- サメの絵の塗り絵では、「どれがいい」と好きな絵を選び、大きさの違いを感じながら塗っていた
- 海遊館、美ら海水族館のジンベエザメの大きさを調べ、実際の大きさを知り、大きさは 8.8mとわかり廊下に同じ長さのテープを貼っていた。トンネル作りでは、ジンベエザメと同じ長さのトンネルを作ると言い、フープやカラービニール袋、養生用テープを使い、保育者や友達と一緒に考えながら協力して作り始め、ジンベエザメトンネルが完成まで試行錯誤しながら作っていた



振り返りをふまえた気付き

●保育者の振り返りと気付き

- 美ら海水族館のジンベエザメのジンタくんと海遊館にいるジンベエザメのゆうちゃんの実際の長さを廊下にテープで貼り、見てわかるようにしていたが、子どもたちから「本物の大きさのジンベエザメを作ってみたい」と声が上がり、「遊ぶべるものがいい」「トンネルのようなものにする」など、どんどんアイディアが出て来ていた
- オキアミも子どもたちに見せると、いろいろな興味関心をもち、虫眼鏡で観察したり匂いを嗅いだり生態を調べたりして、さらにジンベエザメの生態について好奇心や探求心が深まっていた
- 給食の食材の中にもサクラエビなどが使われているので、今後オキアミとサクラエビの違いを調べるなど取り組んでいきたいと思う

12/12（木）活動
～ジンベエザメについて調べクイズ作りをする～

●活動のねらい
・ジンベエザメについて調べたりわかったりしたことを友達や保育者と相談しながらクイズ作りをし、探究心を深める
・友達と協力し合い、発表する中でやり遂げた満足感を味わう

活動スケジュール（５歳児クラス）

活動内容	
①	グループ毎にジンベエザメの口幅の長さと同じものは何かを探したりエラの数についての調べたりする。
②	グループ毎に調べたことを「ジンベエザメクイズ」として発表し合う。

環境をデザインする

●用意した環境　画用紙・養生用テープ・画用紙・絵の具・ピグマックス・油性マジック・図鑑・絵本・ハサミ・セロハンテープ・ジンベエザメの縫いぐるみ・鉛筆削り・図鑑・絵本

★ジンベエザメについて知り得たこと（口幅１２０ｃｍ、エラの数など）を身近なものと照らし合わせながら、実際に同じ長さのものはどんなものなのか、グループ毎に調べてクイズ作りをする。
★グループ毎に作ったクイズを発表し合い、廊下にも掲示する。

探究活動を実践する

●活動内容

グループ毎にジンベエザメに関するクイズ作りし、お互いに作ったクイズを発表し合い、クイズ大会をする。

●子どもたちの様子

- ジンベエザメの口幅が 120 センチ、その長さと同じ長さの紐を持ち、色々なものと比べながら測っていた。廊下の幅がぴったりなことに気が付いたり、園庭にも出て同じサイズのものを探し、紐を使うことで実際の長さを子どもたちは体感しながら、色々なものの長さにも関心をもっていた
- サメのエラの数はいくつあるか調べ始め、図鑑や写真によってはエラがないことに気が付き、調べたことを画用紙に書き出し、疑問に思ったことを子ども同士で話していた
- クイズ作りをしクイズの後ろにカンペをつけるなどの工夫し、クイズの内容や出し方を子どもなりに工夫していた
- 「ジンベエザメの歯に似ているものはなんだろう？」と新たな疑問や知りたいことを話し、ジンベエザメへの探究心が深まっていた
- それぞれのグループで活動はしているが、周りのやっていることを感じ取って「それはこっちにのっているよ」など、違うグループともやり取りしながら、一つのテーマに関して繋がり合っていた

振り返りをふまえた気付き

●保育者の振り返りと気付き

- 保育園の身体測定や休日に出かけたテーマパークの乗り物の身長制限などから自分たちの体の大きさに興味をもっていたので、ジンベエザメと同じ長さ探しは集中して行っていた
- 友達と一緒に考え協力しながら大きさを調べることができた。
- 「ジンベエザメのエラは５個だけどシュモクザメは何個だろう？」「じゃあネコザメは？」と言い新たな興味関心が高まり調べ始める姿に、さらに探求心の深まりを感じた